

新体系 看護学全書

地域・在宅 看護論

【編集】 河野 あゆみ

大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域教授

本書のポイント

- 従来の「在宅看護論」に“地域（地域看護）”の視点を大幅強化しました。
- 「地域・在宅看護論」の位置付けが変更となったことを受け、1年生からでも授業でお使いいただけるよう、章構成を見直しました。
 - ▶ 当該章（第1～3章）は、本文中の表現にできるだけ平易な言葉を用い、初学者でもスムーズに学習できるような構成としています。
- “医療安全”や“災害”など、新カリキュラムで留意点に付記された教育内容を追加しました。
- 第6章では、地域看護・在宅看護の場で遭遇する健康障害について、まとめています。
 - ▶ 各節に事例を掲載しており、グループワークやディベートなどのアクティブラーニングにご活用いただけます。
 - ▶ 実習ではなかなか担当することのできない支援困難な事例も教科書内で解説。在学中から将来の実践を見据えた教育を支援します。
 - ▶ 高齢化や医療の進歩による慢性疾患をもつ患者の増加を受け、“慢性疾患管理”の項目を追加しました。

● 第1章 地域における生活と健康

- I. 地域における生活と健康
- II. 生活と健康をめぐる動向
- III. 生活と健康を支えるケアの場

● 第2章 地域・在宅看護の基盤

- I. 生活と健康を支える地域・在宅看護
- II. 地域・在宅看護の理念・モデル
- III. 地域・在宅看護の変遷
- IV. 地域・在宅看護の倫理

● 第3章 地域・在宅看護を支える仕組み

- I. 地域・在宅看護に関する制度
- II. 地域包括ケアシステム
- III. 訪問看護の制度と機能

● 第4章 地域・在宅看護の個別支援

- I. 在宅看護過程
- II. 家族支援
- III. ケアマネジメント
- IV. 療養移行支援

● 第5章 地域・在宅看護のシステムづくり

- I. 地域アセスメントと地域づくり
- II. 健康の保持増進・疾病予防のシステム
- III. リスクマネジメント
- IV. 災害マネジメント

● 第6章 地域・在宅看護と健康障害

- I. 地域・在宅看護とエンド・オブ・ライフケア
- II. 地域・在宅看護と難病ケア
- III. 地域・在宅看護と慢性疾患管理
- IV. 地域・在宅看護と生活不活発病予防
- V. 地域・在宅看護と認知症ケア
- VI. 地域・在宅看護と介護予防
- VII. 地域・在宅看護と精神障害ケア
- VIII. 地域・在宅看護と小児ケア
- IX. 地域・在宅看護と複雑困難事例ケア

● 第7章 地域・在宅看護の援助技術・技法

- I. 生活を支えるコミュニケーション技術
- II. 生活を支える地域づくりの技法
- III. 生活を支える技術と医療ケア